

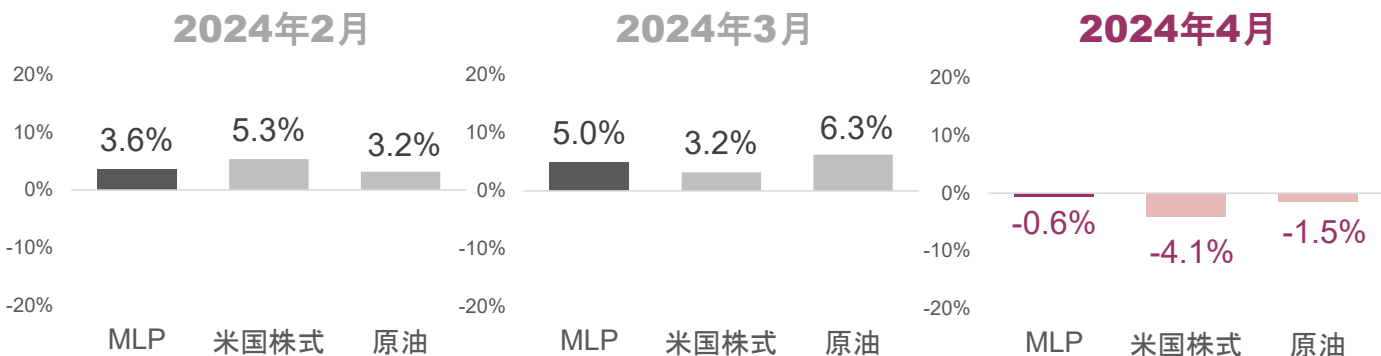
## 当月のS&amp;P MLP 指数の動き

4月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比-0.6%と4カ月ぶりの下落となりました。

月初は地政学リスクの高まりを背景とした原油価格の上昇などを受け、MLPは堅調に推移したものの、その後、原油価格の下落に加え、米経済指標の発表などを受けた利下げ観測の後退を背景に米国株が下落する中、MLPも下落基調となりました。月末にかけては、原油価格の上昇などを支援材料に反発するも、月半ばの下げを取り戻すまでには至らず、S&P MLP 指数は月間ではマイナスのリターンとなりました。

## 過去3カ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)



MLP:S&amp;P MLP 指数、米国株式:S&amp;P 500 種指数、原油:WTI

## 主要指標の動き

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	当月末	前月末	3カ月前月末	前年末	前月末比	3カ月前月末比	前年末比
	2024/4/30	2024/3/31	2024/1/31	2023/12/31			
<b>S&amp;P MLP 指数 (米ドルベース)</b>							
トータルリターン	8,305.84	8,356.02	7,680.63	7,384.81	-0.6%	8.1%	12.5%
プライスリターン	1,641.57	1,663.74	1,549.09	1,500.43	-1.3%	6.0%	9.4%
<b>S&amp;P 500種 指数 (米ドルベース)</b>							
トータルリターン	10,951.66	11,418.03	10,501.38	10,327.83	-4.1%	4.3%	6.0%
プライスリターン	5,035.69	5,254.35	4,845.65	4,769.83	-4.2%	3.9%	5.6%
<b>S&amp;P 500種 エネルギー株指数 (米ドルベース)</b>							
トータルリターン	1,601.74	1,614.08	1,414.42	1,419.77	-0.8%	13.2%	12.8%
プライスリターン	714.95	721.24	636.73	640.05	-0.9%	12.3%	11.7%
<b>S&amp;P 米国 REIT 指数 (米ドルベース)</b>							
トータルリターン	1,561.39	1,680.31	1,616.09	1,686.38	-7.1%	-3.4%	-7.4%
プライスリターン	310.01	334.07	324.27	338.75	-7.2%	-4.4%	-8.5%
<b>米国ハイイールド債 (ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス (米ドルベース))</b>							
トータルリターン	1,598.18	1,614.33	1,590.61	1,590.32	-1.0%	0.5%	0.5%
プライスリターン	67.17	68.22	67.94	68.29	-1.5%	-1.1%	-1.6%
<b>米国10年国債利回り</b>							
	4.68%	4.20%	3.91%	3.88%	0.48	0.77	0.80
<b>原油 (WTI) 米ドル/1バレル当たり</b>							
	81.93	83.17	75.85	71.65	-1.5%	8.0%	14.3%
<b>天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり</b>							
	1.99	1.76	2.10	2.51	12.9%	-5.2%	-20.8%
<b>米ドル (対円)</b>							
	157.80	151.35	146.92	141.04	4.3%	7.4%	11.9%

※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

## 当月の出来事いろいろ

- イランの国営メディアは1日、イスラエルがシリアの首都ダマスカスにあるイラン大使館周辺を空爆し、イラン精鋭部隊の革命防衛隊幹部らが死亡したと報じた。2日には、イランの最高指導者ハメネイ師がイスラエルに対する報復を宣言した。中東情勢の緊迫化を背景に原油先物が上昇を続け、5日にWTI先物が1バレル＝86.91米ドルと2023年10月以来の高水準となった。
- 5日に発表された3月の米非農業部門雇用者数は、前月比＋30.3万人と、予想を大きく上回ったほか、失業率は予想通り3.8%に低下した。平均時給は市場予想通りの前年同月比＋4.1%と、2021年6月以来の低い伸びとなった。また、労働参加率は62.7%と、4ヵ月ぶりに上昇し、予想も上回った。雇用者数の大幅増や、FRB（連邦準備制度理事会）理事、ダラス連銀総裁が利下げを検討する時期には至っていないとの見解を示したことなどから、米利下げ観測が後退し、米国債利回りは上昇した。
- 10日に発表された3月の米消費者物価指数は、1、2月に続いて予想を上回り、全体で前年同月比＋3.5%に伸びが高まったほか、コアでは＋3.8%と、前月と同率だった。利下げ観測が後退したことなどから、米国債利回りが上昇し、米株式相場が下落した。
- 16日、FRBのパウエル議長が、インフレ率は物価目標の2%に戻るとの確信が得られるようになるまでには予想以上に時間がかかる可能性が高いと述べたことなどを受け、米国債利回りが上昇した。
- 25日に発表された1-3月期の米GDP速報値は前期比年率＋1.6%と、予想を下回った一方、同四半期のコアPCE（個人消費支出）物価指数は前期比年率＋3.7%と、伸びが1年ぶりに高まり、予想も上回った。物価指標の上振れを受けて米利下げ観測が後退したことから、米国債利回りが上昇し、10年債が一時、4.73%台をつけた。なお、中東情勢への懸念などから、原油先物が反発した。

## 今後の注目点

- 2024年1-3月期のMLPの決算発表が注目される。

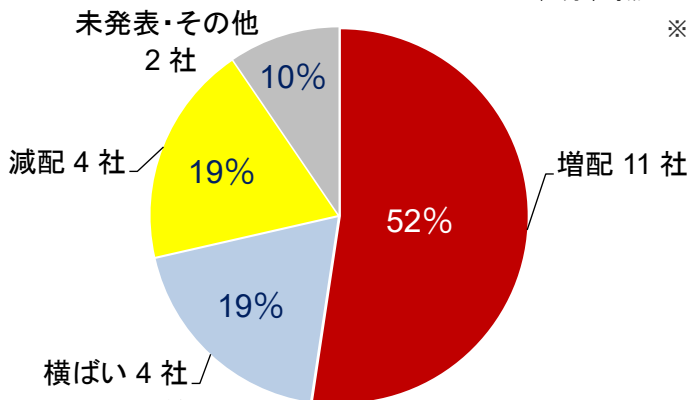
## MLPの分配金動向

MLP各社は決算発表に先立ち、その期の分配金を発表するのが一般的です。4月から公表が始まっているMLPの2024年1-3月期の分配金は、指数構成銘柄(21銘柄、2024年3月末時点)のうち、**19社の発表が終了しており、前年同期比での増配が11社、横ばいが4社、減配が4社**となっています。

<S&P MLP 指数の構成銘柄\*の分配金額(前年同期比)の動向>

2024年4月末現在

\* 2024年3月末時点

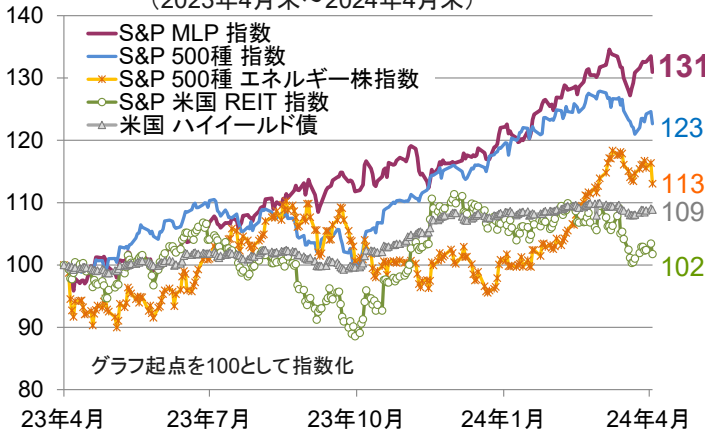


※ 左記の数値は四捨五入の関係で合計が100%とならないことがあります。

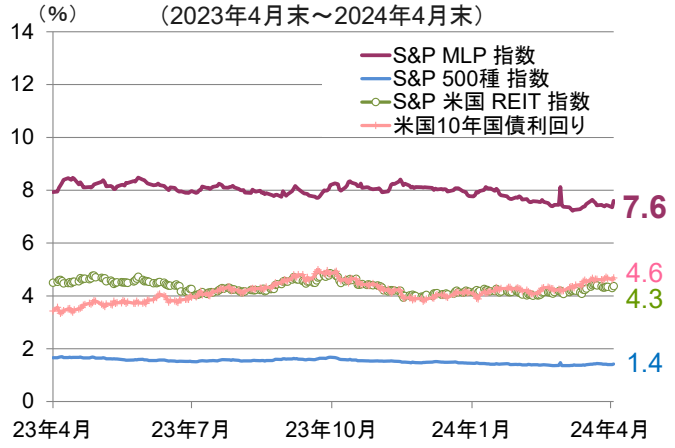
(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

■ 過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)  
(2023年4月末~2024年4月末)



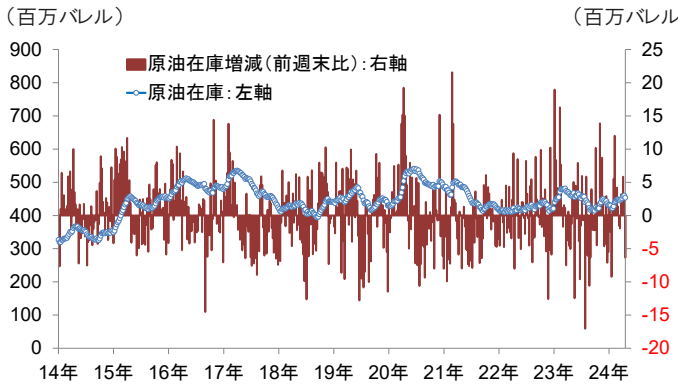
■ 過去1年の各資産の利回り  
(2023年4月末~2024年4月末)



※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。  
※上記利回りは切り捨てにて端数処理しています。

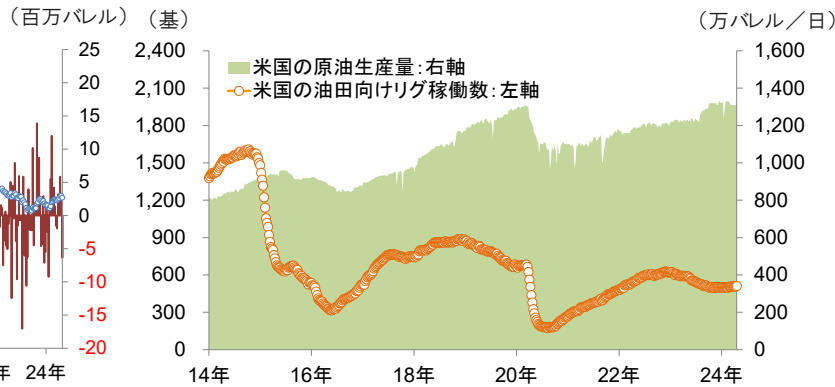
■ 米国の原油在庫

(2014年1月第1週末~2024年4月第3週末)



■ 米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

(2014年1月第1週末~2024年4月第3週末)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給緩和懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■ 原油価格と米ドル指数\*

(2014年1月初~2024年4月末)



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)  
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。